

UEDA MOVIE THEATER JOURNAL

vol.57 TAKE FREE

2022.MAY

5

上田映劇 ジャーナル

映画に演劇、美術や音楽
街のアートを楽しむための冊子

Movies, plays, art and music

Booklet for enjoying the art of the city



表紙切り絵
アビチャップン・イン・ザ・ウッズ 2022
『ブンミおじさんの森』より

上田映劇 今月の PICK UP MOVIE

『林檎とポラロイド』

【コラム】 あなたは自分の人生を生きていますか 文：田村志津枝

EIGEKI COLUMN, SHOP, BOOKS, ART WORKS, etc....

本誌に掲載されている上映や企画につきましては、新型コロナウイルス等、その他諸事情により急遽中止・延期等させていただく場合がございます。
その都度当館ホームページでお知らせ致します。あらかじめ、ご了承くださいませ。



PICK UP MOVIE



©2022 Boo Productions and Lava Films All right reserved.

林檎とポラロイド

哀しい記憶だけ
失うことはできませんか？

記憶喪失を引き起こす奇病が蔓延する世界——。
男は治療のために、様々なミッションをこなし、
新たな思い出を作っていく…。

[2020 年／ギリシャ＝ポーランド＝スロベニア／90 分]
出演：アリス・セルヴェタリス、ソフィア・ゲオルゴヴァシリ、アナ・
カレジドゥ、アルギリス・バキルジス 監督・脚本：クリストス・ニク
エグゼクティブ・プロデューサー：ケイト・ブランシェット



そんな中、男は同じく回復プログラムに参加する女と出会い、親しくなっていく。男が新しい日常に慣れてきた頃、彼はそれまで忘れていた、以前住んでいた番地をふと口にする。新しい思い出を作るためのミッションによって、男の過去が徐々にひも解かれていくが……。ケイト・ブランシェットが絶賛し、製作総指揮に名を連ねた。

[上映日程] 5/21~6/3 (休映：5/23、30)

あなたは自分の人生を生きていますか

突然記憶を喪失する人が急増している。そんな感染症パンデミックを暗示するかのような状況下でこの物語は始まる。主人公の男も、瀟洒な住まいを出て数時間後、バスの終点で運転手に起こされた時には、名前も何もかも忘れてしまっていた。けれど私は不思議なほど、この男の心情に違和感なく寄り添えた。主演俳優はダンサーでもあるそうで、感情だけでなく場の雰囲気まで、全身でさりげなく表現している。

記憶を失って病院に収容されても親族が捜しに来ない身元不明者は、“新しい自分”を構築するプログラムにとりかかる。ゼロから人生を始めて社会復帰を目指すのだ。このきわめてシンプルな発想と、驚くほどアナログな手法が、物語の底流にユーモラスな味わいを漂わせている。プログラム参加者は住まいと生活費を与えられ、カセットテープで送られてくる指令を実行し、その証拠写真をポラロイドカメラで撮る。ノスタルジーを感じさせるツールを目にすると、私たちが日ごろ記憶の蓄積などを大幅にPCやスマホに頼ってしまっていることに、あらためて気づかされる。

男は律儀にプログラムをこなしていく。指令はごく平凡で、自転車に乗る、ホラー映画を見る、女性と付き合う、というようなものだ。しかしこんな記憶を積み重ねるぐらいで、新たな人生を歩み出せるものだろうか。記憶とはもっと複雑でしかもアイデンティティ形成の重要な部分を占めている、と私は思うのだが。案の定しだいに彼の心はきしみ出す。その彼がふと音楽に引き込まれ、真情を発露するかのように踊り出すシーンは感動的だ。彼はきっと自分が自然に活気づく何かを見つけたのだ。

身になじんだ衣服をまとい、見慣れた風景を眺め、好きな林檎を食べる。無言のうちに彼の深い安らぎが伝わってくる。いったい人生にとって大切なものとは何だろう。そんなことを考えさせられる美しい作品だ。

tamura shizue

田村志津枝

ノンフィクション作家。一方で大学時代から自主上映や映画制作などに関わってきた。1977 年にファスビンダーやヴェンダースなどのニュー・ジャーマン・シネマを日本に初めて輸入、上映。1983 年からホウシャオシエンやエドワード・ヤンなどの台湾ニューシネマ作品を日本に紹介し、その後の普及への道を開いた。



【うえだ子どもシネマクラブ】

そうだ、今日は映画館に行こう！

学校に行きづらい、または行くのをやめてしまった子どもたちのための上映会【うえだ子どもシネマクラブ】。月2回の上映会のほか、水曜日と金曜日には映画館で過ごしていただくことができます。学校に行きづらい日は映画館へぜひお越しください！

日程：5月9日（月）

作品：10:00 ～『夢みる学校』

13:00 ～『GAGARINE／ガガーリン』

日程：5月23日（月）

作品：10:00 ～『ハイジアルプスの物語（吹）』

13:00 ～『スザンヌ、16歳』

こちらの上映会は登録制になっています。詳細は劇場窓口または、NPOアイダオ（080-4813-1110）までお問い合わせください。



詳細はこちらから▶



5月の「おやつ販売」のご案内

少しずつ定着しつつある映劇のおやつ企画。4月末から新たにリベルテさんのクッキー販売を始めたほか、今月もいつもの皆さんが映画のお供に最高のおやつを提供してください。ルヴァンのスコーンやベルベデーレも日々不定期で入荷しているほか、現在開催中のmusubisyaのポップアップショップでも、ショートブレッドやチョコレートを販売しています。重澤珈琲（映劇内）とともに、ぜひお楽しみください！

ナグモドーナツ

NAGMO DONUTS

日程：5/7（土）

オーガニックショートニングを使用した、サクサク食感と香りがたのしいドーナツの販売

instagram▶



にちにおやつ なぎ

日程：5/28（土）

卵・乳製品・白砂糖不使用のおやつ販売

instagram▶



コトコト

cotocoto

日程：5/14（土）

酵素玄米おにぎりや酵素玄米おにぎり（醤油糍つき）の販売

instagram▶



ポップコーン

pop i corn

日程：5/14（土）

「週末こども映画館」の上映に合わせてキャラメルポップコーンなど販売

侍学園 公開授業

「もう」は「まだ」なり、「まだ」は「もう」なり

もう大丈夫だと思っても、上手いかなかった経験ありませんか？まだダメだと思っても、上手い経験ありませんか？「もう」と思っても、「まだ」だし、「まだ」と思ったら「もう」だったりします。

今回の授業は自己分析のワークショップをおこなう参加型授業です。自己分析から自己理解をすすめ、一步踏み出すタイミングや方向性を考えて、社会の中で自分を活かしていくライフプランを練り上げます。

日程：5月21日（日）

13:00 開場 13:30 開演

入場無料

お問合せ & お申込み 0268-38-0063

主催：認定NPO法人 侍学園スクオーラ

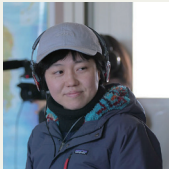
無料相談会
あります
(要予約)

0268-38-0063

EIGEKI COLUMN

第54回

この春のはなし



引っ越しついでに取り始めた新聞の一面は日々、戦争のことを伝えている。戦禍に巻き込まれている人々は当然のこと、伸び続ける枝のように無数に派生して生活を脅かされる人々が増え続ける状況を知れば、当たり前にもを食べ、水や電気を享受して生活し、温かい布団の中で眠ることができる自分に負い目を感じずにはいられない。

新聞記事やニュースから知ることができる情報はごくごく一部で、数行のテキストが伝えようとしていることを自分の内に想像するためには、イメージを持たなければいけない。私たちは、映画が生活の一部として当たり前存在するようになって久しい時代に生まれたので、自らのうちに持つイメージを、今まで見てきた映画に頼ることが多いはずだ。戦地の状況を伝える記事を読めば、『プライベート・ライアン』でノルマンディ港に上陸する軍隊の凄まじい戦闘シーンを思い浮かべて、その生々しさを実感に近いレベルで想像する。映画が後々になってもたらず不幸を想像するためには、『アメリカン・スナイパー』で主人公が帰還してからの場面を思い出す。また、別の国で起きている戦争が自国の経済に打撃を与え、職を失い、困窮している人々について考えるためには、『サンドラの週末』の主人公や、『家族を想うとき』の主人公一家のことを思えば、まるで自分のことのように感情や感覚を伴ってイメージを持つことができる。

近年ヒットする映画と言えば「本当にこれは映画か？」と議論を呼ぶようなものばかりだが、例えば映劇でかかるような「映画」を見ておくことは、あらゆる局面で豊かなイメージを自分のうちに持つために、つまりは生きていくために必要なことなのだと改めて思う春である。

tsuruoka keiko

鶴岡 慧子

映画監督／脚本家

上田市出身。神戸芸術工科大学映像表現学科助教。当劇場理事。初長編作品『くじらのまち』が、PFFアワード2012においてグランプリ & ジューストーン賞をW受賞、その後世界各国の映画祭にて上映される。2015年『過ぐる日のやまねこ』で劇場デビュー。最新作は西加奈子の同名小説が原作の『まく子』。信濃毎日新聞「シネマ魅どころ」に映画評を隔週連載中。

第36回

ちょっとひと息



先日、上田市日本遺産推進協議会で発行した絵本「おひさまはみている」の朗読動画とトークセッションを屏の角にて撮影しました。

昨年、信濃国分寺から塩田平の生島足島神社、泥宮へと続く道「太陽と大地の聖地」が正式に日本遺産に認定され、それを記念し、「塩田平ため池を愛する会」「ヤマンバの会」の皆様が作成した絵本とカルタを朗読しました。

撮影当日は、まず塩田平にある、ため池の歴史や土地に伝わる貴重なお話を伺いました。その後私は、絵本を朗読させていただき、絵本の中に出てくる太鼓の音は、上田市在住の和太鼓奏者の大日方譲治さんに演奏していただきました。また、別日には、長野大学の学生の皆様と「屏の角」のイロイロ倶楽部の子供達によるカルタ遊びとトークセッションも収録されました。故郷の歴史、文化を学びあらためて上田の素晴らしさを知った有難い時間となりました。絵本朗読とカルタ遊び、其々のトークセッションは、共に上田市の行政チャンネルにてご覧頂けます。

さて、今年の春も「真田まつり」は延期になりました。毎春、上田の桜を愛でながら、上田市観光大使として真田まつりに参加するのを楽しみにしていたのですが、このコロナ禍では、仕方ありません。お花見もできない代わりに、上田城の千本桜の美しい写真や動画を家族や友人達から送ってもらいましたが、実際近くで見れなくても、色々な表情をしている桜の写真などを見る度に、上田に春が来た！とワクワクします。

また、春の花と言えば、桜の少し前に咲く梅の花も大好きです。寒空に厳かに咲く梅の花の強さに惹かれます。春を愛する人は心清き人、。芹洋子さんの「四季の歌」にてくる歌詞ですが、私も心清くいたいものです。

tsukikage hitomi

月影 瞳

元宝塚歌劇団・娘役トップスター

長野県上田市出身。上田市観光大使。当劇場理事。1990年「ベルサイユのばら」で初舞台。入団2年目で新人公演、初ヒロインを演じる。1997年「誠の群像」で星組トップ娘役となる。その後雪組に組替えし引き続きトップ娘役としてミュージカルやショーなどで活躍する。2002年に「愛燃える/Rose Garden」で退団。退団後は舞台、コンサートや映画など、活躍の場を広げている。

vol.51

ビーよりディー
気持ちは $P \leq D$ 

監督志望の僕がプロデューサーになって、携わった作品でいつも予想外なのが『THE 3名様』だ。佐藤隆太、岡田義徳、塚本高史の3人がファミレスでただダラダラと話しているだけの物語だ。そんな『THE 3名様』が映画になって12年ぶりに帰って来た。そして、この連載を続けている上田映劇でも上映される。感無量である。『サムライフ』で僕を映画監督にしてくれた街・上田。そこにある映画館で上映される久しぶりの監督作品だ。元々は今をときめく映画監督の福田雄一さんの監督デビュー作としてヒットしたものだった。そのぶん今回、監督を引き継ぐことにはプレッシャーがなかったと言い切れない。しかし、企画の始まりがああ3人な訳だから、そこは3人との連携でなんとかなるはずだと思い、監督を引き受けた。正直、コメディは難しい。人それぞれにツボがあり、況してや言語や文化を越えると途端に理解不能になる。『THE 3名様』には独特のトンマナがあり、初めて観る人には「？」な部分もあるに違いない。その不安を打ち消すために、今回は企画段階から主演の3人にも深く関わってもらった。原作者の石原まこちん先生が書かれた20本以上の脚本を演者の3人と一緒に解析し、今回撮影するエピソードを絞り込んだ。また、撮影現場でもそれは続き、台本にしたのに撮影しなかったエピソードもあった。それくらい、ある意味ストイックに作っているのだが、それは微塵にも感じさせないのが『THE 3名様』なのだと今回監督して改めて思った。1週間限定公開から始まった劇場版だが、最初は映画館での上映が実現するとは誰も思っていなかった。しかし、蓋を開けてみると初日から満席が続き、平日もチケットが完売するなどという奇跡が起き始めた。正直、予想外。でも、これはきっと12年前に『THE 3名様』と共に「青春」を過ごした人たちが大人になっても、その時の仲間やあの3人と一緒に笑ったり泣いたりすることを変わらず求めているくれた証拠だと思う。感謝しかない。せっかく復活したのだから今回の一作だけでは寂しい。ファンの皆さんから頂いたパワーを胸に何処まで走れるかをやってみたいと思う。『男はつらいよ』のように続くシリーズになればなどと言う無謀な夢を見ずにはいられない。(つづく)

moriya takeshi

森谷 雄

プロデューサー／映画監督

愛知県生まれ。株式会社アットムービー代表。当劇場理事。「天体観測」(フジテレビ)、「ザ・クイズショウ」(日本テレビ)、「深夜食堂」(毎日放送)などのドラマをプロデュース。映画作品は『しあわせのパン』(三島有紀子監督)、『曇天に笑う』(本広克行監督)ほか多数。監督作品に『サムライフ』がある。最新作は『ミッドナイトスワン』(内田英治監督)。

MONTHLY LINE UP

ROCKUMENTARY2022 極上のロック・ドキュメンタリー



© 2020 CG Cinéma International / Théo Films / Tribus P Films International / ARTE France Cinéma / UGC Images / DETAILFILM / EUROSPEACE / Scope Pictures / Wrong men / Rtb (Télévisions belge) / Piano

アネット

[2021年/仏・独・ベルギー・日/140分] 監督：レオス・カラックス 出演：アダム・ドライバー、マリオン・コティヤール、サイモン・ヘルバーク 原案・音楽：スパークス

愛が、たぎる。

『ポンヌフの恋人』『汚れた血』などの鬼才レオス・カラックスが、アダム・ドライバーとマリオン・コティヤールを主演に迎えたロック・オペラ・ミュージカル。ロン&ラッセル・メイル兄弟によるポップバンド「スパークス」がストーリー仕立てのスタジオアルバムとして構築していた物語を原案に、映画全編を歌で語り、全ての歌をライブで収録した。第74回カンヌ国際映画祭で監督賞を受賞。

[上映日程] 5/1~20 (休映：5/9~10、16)



リンダ・ロンシュタット
サウンド・オブ・マイ・ヴォイス

[2019年/アメリカ/93分] PG12 出演：リンダ・ロンシュタット、ジャクソン・ブラウン、ライ・クーダー、キャメロン・クロウ 監督：ロブ・エプスタイン&ジェフリー・フリードマン

どんなジャンルの曲も歌いこなした稀代のシンガー、リンダ・ロンシュタット。幾多の全米ナンバーワン曲とミリオンヒットアルバムを叩き出し、グラミー賞を10度受賞。輝かしい栄光と、その後の知られざる人生を描く。

[上映日程] 5/7~20 (休映：5/9~10、16)



スージーQ

[2019年/オーストラリア/104分] 出演：スージー・クアトロ、ジョーン・ジェット、デボラ・ハリー、アリス・クーパー 監督&製作：リーアム・ファーマー

女性ロックシンガーの草分け的存在、スージー・クアトロの音楽史をたどる。ロックは男性のものと思われていた60年代、ジェンダー差別とも闘いながら大ヒット曲を連発。彼女のエネルギッシュな生き様を辿る音楽ドキュメンタリー。

[上映日程] 5/21~6/3 (休映：5/23、30)



ローレル・キャニオン
夢のウェストコースト・ロック

[2020年/アメリカ/120分] PG12 出演：ジャクソン・ブラウン、ジョニ・ミッチェル、デヴィッド・クロスビー、グラハム・ナッシュ、スティーヴン・スティルス、ニール・ヤング、ドン・ヘンリー 監督：アリソン・エルウッド

カリフォルニア・サウンドという言葉を生み出したウェスト・コーストロックの聖地、ローレル・キャニオンを巡る音楽ドキュメンタリー。錚々たるミュージシャンのヒット曲で紡ぐ夢の音楽映画。

[上映日程] 6/4~17 (休映：6/6、13)



Lancelot du Lac
A Film by Robert Bresson
湖のランスロ
孤高の映画監督による幻の傑作、ついに日本初劇場公開。

© 1974 Gaumont / Laser Production / France 3 Cinema (France) / Gerico Sound (Italy)

[1974年/フランス・イタリア/84分] 監督・脚本・台詞：ロベール・ブレッソン 出演：リュック・シモン、ローラ・デューク・コンドミナス、アンペール・バルザン

騎士道精神の崩壊と許されざる恋を描いたブレッソン悲願の企画。

時は中世。城に帰還したものの、聖杯探しに失敗し多くの戦死者を出した円卓の騎士たち。その中のひとり、ランスロは王妃グニエヴルとの道ならぬ恋に苦悩していた。神に不倫をやめると誓うランスロだったが、王妃にその気はなかった……。

[上映日程] 5/21~27 (休映：5/23)



Le Diable probablement
A Film by Robert Bresson
たぶん悪魔が
孤高の映画監督による幻の傑作、ついに日本初劇場公開。

© 1977 GAUMONT

たぶん悪魔が

[1977年/フランス/97分] 監督・脚本・台詞：ロベール・ブレッソン 出演：アントワヌ・モニエ、ティナ・イリサリ、アンリ・ド・モブラン、レティシア・カルカノ

死の誘惑にとりつかれて彷徨う若者が、壊れゆく世界の果てで見つけたのは…。

自殺願望に取り憑かれている美しい青年シャルルは、政治集会や教会の討論会に顔を出しても違和感を抱くだけで何も解決しない。冤罪で警察に連行されたシャルルは一層虚無に苛まれ、やがて銃を手にする。

[上映日程] 5/14~20 (休映：5/16)



勝手にしやがれ

[1960年(2020年4Kレストア版)/フランス/90分] 出演：ジャン＝ポール・ベルモンド、ジーン・セバーグ、他 監督・脚本・台詞：ジャン＝リュック・ゴダール 原案：フランソワ・トリュフォー

映画を変えた不滅の金字塔

自動車泥棒でマルセイユからパリへの逃走中警官を殺した男。かつて南仏でベッドを共にした新聞記者志望のアメリカ人留学生のアパートへ転がり込む。金を調達し二人でイタリアへ逃れようとする男と夢をかなえようとする女の行く末は…。

[上映日程] 6/4~10 (休映：6/6)



気狂いピエロ

[1965年(2015年2Kレストア版)/フランス/110分] 出演：ジャン＝ポール・ベルモンド、アンナ・カリナ、他 監督・脚本・台詞：ジャン＝リュック・ゴダール

ヌーヴェル・ヴァーグの奇跡的傑作

パリで金持ちの妻との生活に辟易している男。偶然ベビーシッターにやってくるかつての恋人。彼女を家に送り一夜を共にするも、翌朝知らない男の死体が転がっていた。事情の分からぬまま、彼女の兄がいるという南仏に向かう…。

[上映日程] 5/28~6/3 (休映：5/30)



アピチャポン・イン・ザ・ウッズ2022
カンヌ国際映画祭最高賞受賞、コロンビアで撮影した新作「MEMORIA メモリア」が公開されるアピチャポン・ウィーラセタクン。本特集ではタイ時代の代表作を特集。故郷タイ東北部の森に覚醒された音と映像が映画を拡張させていくアピチャポンの才能をあらためて全身で感じてください。

© 2021 Apichatpong Weerasethakul

アピチャポン・イン・ザ・ウッズ2022

[2021年/日本/115分] R18+ 出演：村上浮、葉葉葉、好井まさお、鮎川桃果、大西信満、宮崎吐夢、田口モロロ、AZUMI、烏丸せつこ 監督：廣木隆一 エンディングテーマ：大橋トリオ「はじまりの唄」

映画の常識を軽々と超えた記念すべきデビュー長編

タイ北部の村で行商人の女性が、撮影クルーに促され、一つの架空の物語を語り始める。その続きを象徴する少年たち、伝統演劇の劇団員たちなど、様々な人々がリレー形式で即興的に語り継ぎ、物語は二転、三転しながら思わぬ方向に進んでいく…。この作家の現在につながる類まれな創造性を全編を通して発揮されている重要作。

[上映日程] 5/14~27 (休映：5/16、23)

女王様、少しでも泣いてもいいですか？

市の水道局に勤め一見真面目そうに見えるヨシダヨシオは、夜になると SM クラブの“女王様”ミホのもとに足しげく通う一面も持ち合わせていた。しかし彼はこの世界に彼を目覚めさせ、突然姿を消した“伝説の女王様”ユキ子のことが忘れられず、ここ最近プレイに身が入らずにいた…。

[上映日程] 5/14~27 (休映：5/16、23)



夢みる小学校

[2021年/日本/91分] 監督・撮影・編集：オオタヴィン ナレーション：吉岡秀隆 エンディング曲：ザ・ブルーハーツ「夢」 出演：堀真一郎(きのくに子どもの村学園園長)、福田弘彦(伊那市立伊那小学校校長)、西郷孝彦(桜丘中学校前校長)、茂木健一郎(脳科学者)、尾木直樹(教育評論家)、辻信一(文化人類学者)、高橋源一郎(作家)

おとも子どもも、こんな学校に行きたかった！

テストや宿題、先生が存在せず、「自己決定・個性化・体験学習」を重視する学校「きのくに子どもの村学園」を取り上げたドキュメンタリー。主に「南アルプス子どもの村小学校」での学校の様子や生徒の活動を映し出す。

[上映日程] 4/30~5/13 (休映：5/9~10)



真昼の不思議な物体
[2000年/タイ/モノクロ/35mm/83分] 映画の常識を軽々と超えた記念すべきデビュー長編

© Kick the Machine Films

真昼の不思議な物体

[2020年/タイ/モノクロ/35mm/83分] 映画の常識を軽々と超えた記念すべきデビュー長編

タイ北部の村で行商人の女性が、撮影クルーに促され、一つの架空の物語を語り始める。その続きを象徴する少年たち、伝統演劇の劇団員たちなど、様々な人々がリレー形式で即興的に語り継ぎ、物語は二転、三転しながら思わぬ方向に進んでいく…。この作家の現在につながる類まれな創造性を全編を通して発揮されている重要作。

タイ北部の村で行商人の女性が、撮影クルーに促され、一つの架空の物語を語り始める。その続きを象徴する少年たち、伝統演劇の劇団員たちなど、様々な人々がリレー形式で即興的に語り継ぎ、物語は二転、三転しながら思わぬ方向に進んでいく…。この作家の現在につながる類まれな創造性を全編を通して発揮されている重要作。

[2020年/日本/58分] R18+ 企画・監督・撮影・出演：池田英彦 出演：毛利信巳 プロデューサー・撮影・脚本：真野勝成 共同プロデューサー・構成・編集：佐々木誠

愛について語るときにイケダの語ること

四肢軟骨無形成症という障害を持っていたイケダが、胃癌ステージ4の宣告を受けた。彼は生きている限りセックスを楽しみ、自分の恋愛をカメラに記録しようとする。闘病の末に亡くなったイケダが最後に遺したかったものは何なのか。

[上映日程] 5/21~27 (休映：5/23)

初日(5/21) 舞台挨拶あります



戦慄せしめよ

[2021年/日本/89分] 監督・脚本：豊田利晃 音楽：日野浩志郎 演奏：太鼓芸能集団 鼓童 出演：浅川清彦

すべては叩くという行為からはじまった

佐渡島を拠点に日本の伝統芸能を世界に発信し続け、今年創立40周年を迎えた太鼓芸能集団 鼓童の初の主演映画。鼓童メンバーから届いたメールをきっかけに、goat、YPY、GEIST等のマルチな活動で知られる音楽家の日野浩志郎が、延べ1ヶ月に及ぶ鼓童村での滞在制作で書き下ろした89分の楽曲群を、鬼才・豊田利晃が全編佐渡島で撮影、映像化した、震撼音楽映画。

[上映日程] 4/30~5/6



光りの墓
[2015年/タイ・イギリス・フランス・ドイツ・マレーシア/122分] 「記憶」というテーマの探求。タイ時代の集大成。

© Cinema Cooks, © Mankind Cinemas, © Symmetry Cinemas

光りの墓

[2015年/タイ・イギリス・フランス・ドイツ・マレーシア/122分] 「記憶」というテーマの探求。タイ時代の集大成。

腎臓の病に冒され、死を間近にしたブンミは、妻の妹ジュンとタイ東北部の自分の農園に呼び寄せる。そこ19年前に亡くなった妻が現れ、数年前に行方不明になった息子も姿を変えて現れる。やがて、ブンミは愛するものたちとともに森に入っていく…。美しく斬新なイメージーションで世界に驚きを与えた名作。

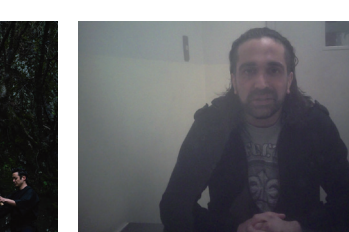
アンラッキー・セックス またはイカれたポルノ

[2021年/ルーマニア・ルクセンブルク・チェコ・クロアチア/ルーマニア語/106分] R15+ 監督・脚本：ラドゥ・ジュデ

人間の本性は「卑猥」である。

コロナ禍を背景に偏見や個と公などについて問いかけ、ベルリン国際映画祭金熊賞に輝いた三部仕立てのブラックコメディ。夫とセックス中の動画をインターネットで拡散された名門校の教師の行く末が描かれる。ニューヨークタイムズが選ぶ2021年ベスト2位にも選出され話題となった。

[上映日程] 5/28~6/10 (休映：5/30、6/6)



牛久

[2021年/日本/87分] 監督・撮影・編集：アッシュ・トーマス

“おもてなし”の国、日本——？

茨城県牛久市にある東日本入国管理センター。国外退去を命じられた外国人を収容する、全国に17か所ある入管施設の一つで「牛久」と呼ばれている。収容されている外国人の中には、紛争などが原因で故郷に戻れず、難民申請をしている人も少なくない。そんな「牛久」に収容された9人と面会室で対面し、その模様を隠し撮りする。

[上映日程] 5/28~6/10 (休映：5/30、6/6)

COMING
SOON

6/4～『ニトラム NITRAM』『愛なのに』『ちむぐりさ 葉の花の沖縄日記』『若おかみは小学生！』、6/11～『パリ 13 区』『見えるもの、その先に ヒルマ・アフ・クリントの世界』『猫は逃げた』『サンマデモクラシー』『ヴィム・ヴェンダース レトロスペクティブ』、6/18～『エコー・イン・ザ・キャニオン』『テレビで会えない芸人』『パイナップル・ツアーズ』、6/25～『ワン・セカンド 永遠の 24 フレーム』『フェルナンド・ポテロ 豊かな人生』、7/2～『山歌』『社人 環境再生医 矢野智徳の挑戦』、7/9～『チロヌプカマイイオマンテ』、7/16～『シェイン 世界が愛する厄介者のうた』『距ててて』、7/30～『光復』、(7月)『オフィサー・アンド・スパイ』、8/6～『教育と愛国』『河童のクゥと夏休み』、8/20～『ある惑星の散文』(順次)『パッフィン・ロック』『人生ドライブ』『イントロダクション』『あなたの顔の前に』.....and more



© «Non-stop Production» LLC, © «Central Partnerships» LLC, © «GPM KIT» LLC, 2020. All Rights Reserved.

チェルノブイリ1986

[2020 年／ロシア／ロシア語／ 136 分] 製作・監督・主演：ダニール・コズロフスキー
出演：オクサナ・アキンシナ、フィリップ・アヴデエフ

その日、世界は変わった——

1986年、ソビエト連邦下のウクライナ。消防士のアレクセイは10年ぶりに再会した元恋人オリガと人生を共に歩みたいと願うが、地元にあるチェルノブイリ原子力発電所で爆発事故が発生。全世界、そして愛する人を未曾有の危機から救うため、アレクセイは貯水タンクの排水弁を手動で開ける決死隊に志願する。

[上映日程] **5/7~27** (休映：5/9~10、16、21、23)



©Casting By 2012

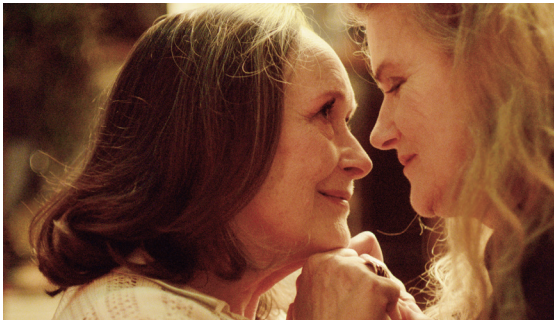
キャスティング・ディレクター ハリウッドの顔を変えた女性

[2012 年／アメリカ／89 分] 出演：マリオン・ドハティ、マーティン・スコセッシ、ロバート・デ・ニーロ、ウディ・アレン、クリント・イーストウッド、ロバート・レッドフォード、ダスティン・ホフマン、アル・パチーノ、メル・ギブソン、ジョン・トラボルタ、グレン・クローズ 監督：トム・ドナヒュー

これはキャスティングを 芸術にまで高めた女性の実話

キャスティングの先駆者マリオン・ドハティを中心に、キャスティングの仕事に迫るドキュメンタリー。スタジオシステム方式からアンサンブルキャストへ移行する道筋をつけ、アメリカン・ニュースネマの到来を告げた彼女の功績を辿る。

[上映日程] **5/14~27** (休映：5/16、23)



© PAPIRIKA FILMS / TARANTULA / ARTEMIS PRODUCTIONS – 2019

ふたつの部屋、ふたりの暮らし

[2019 年／フランス＝ルクセンブルク＝ベルギー／フランス語／95 分] 監督・脚本：フィリップ・メネゲッティ 出演：バルバラ・スコヴァ、マルティヌ・シュヴァリエ、レア・ドリュッケール、ミュリエル・ペナゼラフ、ジェローム・ヴァレンフラン

夢にまで見た最期の計画。 あたりまえと思っていた日常が消えた。

南フランスのモンペリエにあるアパートの向かい合う部屋に暮らすニナとマドレーヌは、誰にも秘密で愛し合う恋人同士で、ローマへの移住を計画していた。しかしマドレーヌは独立した子供たちにそのことを伝えられずにいた。そんな中、マドレーヌに不幸な出来事が襲いかかる。

[上映日程] **5/21~6/3** (休映：5/23、30)



(c) Genuine Light Pictures

春原さんのうた

[2021 年／日本／ 120 分] 脚本・監督：杉田協士 原作短歌：「転居先不明の判を見つめつつ春原さんの吹くリコーダー」(ちくま文庫『春原さんのリコーダー』より) 出演：荒木知佳、新部聖子、金子岳憲、伊東沙保、ほか

第32回マルセイユ国際映画祭
グランプリ・俳優賞・観客賞 受賞

美術館での仕事を辞めてカフェでのアルバイトを始めた沙知(24)は常連客から勧められたアパートの部屋に引越しをする。そこでの新しい生活を始めた沙知だったが、心にはもう会うことの叶わないパートナーの姿が残っている。

[上映日程] **4/30~5/13** (休映：5/9~10)



© Produced by Production Center of Andrei Konchalovsky and Andrei Konchalovsky Foundation for support of cinema, scenic and visual arts commissioned by VGRK, 2020

親愛なる同志たちへ

[2020 年／ロシア／ロシア語／ 121 分] 監督・脚本：アンドレイ・コンチャロフスキー
出演：ユリア・ピソツカヤ、ウラジスラフ・コマロフ、アンドレイ・グセフ

私は信じていた。この祖国、 母であること、そして我が人生を——

1962年にソ連南部のノボチェルカスクで起こった市民の虐殺事件。労働者のデモ弾圧に発したこの衝撃的事件の真相を、シングルマザーで共産党員でもある主人公の愛娘捜索を軸に描いた歴史大作。

[上映日程] **5/14~6/3** (休映：5/16、23、30)



英雄の証明

[2021 年／イラン・フランス／ペルシア語／ 127 分] 監督・脚本・製作：アスガー・ファルハディ 出演：アミル・ジャディディ、モーセン・タナバンデ、サハル・ゴルデュースト、サリナ・ファルハディ

ベテン

英雄か、詐欺師か

借金の罪で収監されているラヒムは、借金を返済すればすぐに自由の身になれる状況だった。ある日、彼の婚約者が金貨を拾い、借金は帳消しになるはずだったが、彼は落とし主に金貨を返すことを決意する。そのことがメディアで取り上げられ、ラヒムは英雄に祭り上げられるが・・・。

[上映日程] **4/30~5/19** (休映：5/9~10、14~16)



©2020 Haut et Court – France 3 CINÉMA

GAGARINE／ガガーリン

[2020 年／フランス／フランス語／98 分] 監督：ファニー・リアタール&ジェレミー・トルイユ 出演：アルセニ・バティリ、リナ・クードリ、ドニ・ラヴァン他

募る思いが、輝き出す。

パリ郊外のガガーリン団地に住む16才のユーリは、宇宙への憧れを胸に秘めながらも、パリ五輪の為に取り壊される住宅に留まり、帰らぬ母を待ち続ける。しかし、自由を愛するロマの少女ディアナとの出会いと初恋、親友フサームとの友情が、少しずつユーリを変えていく。解体が迫るなか、彼は団地を宇宙船に改造して守る事を決意する。

[上映日程] **5/14~27** (休映：5/16、23)



©2022「THE3 名様」Partners ©石原まこちん・小学館

THE 3 名様

～リモートだけじゃ無理じゃね？～

[2022 年／日本／69 分] 出演：佐藤隆太、岡田義徳、塚本高史、小林大介、桃月なしこ、安藤玉恵 原作・脚本：石原まこちん プロデュース・監督：森谷雄

原点にして頂点?! ついに、 伝説の3人が、帰ってくる。

フリーター3人組が深夜のファミレスで会話を繰り返すだけの脱力コメディ「THE3名様」が、原作者・石原まこちんの完全書き下ろしで復活!「アラフォーキッズ」の大マジ脱力コメディが、生きづらくなったこの時代に、元気と笑いを届けます!

[上映日程] **5/7~20** (休映：5/9~10、16)



©Bathysphere - To Be Continued - Ascent film - Chipangu - Frakas Productions - Pandora Film Production - Arte France Cinema

ONODA 一万夜を越えて

[2021 年／フランス・日本・ドイツ・ベルギー・イタリア／174 分] 出演：遠藤雄弥、津田寛治、仲野太賀、松浦祐也、千葉哲也、カトウンスケ、井之脇海、足立智充、吉岡睦雄、伊島空、森岡龍、諏訪敦彦、嶋田久作、イッセー尾形 監督：アルチュール・アラリ

忘れない。

太平洋戦争末期。小野田寛郎に、ある命令が下る。それはフィリピン・ルバング島で援軍が到着するまでゲリラ戦を指揮せよというものだった。出発前に「死ぬ権利はない」と言い渡された彼は、その言葉を守って終戦後もジャングルで身をひそめていた…。

[上映日程] **5/7~13** (休映：5/9~10)



スザンヌ、16歳

[2020 年／フランス／77 分] PG12 出演：スザンヌ・ランドン、アルノー・ヴァロワ、フレデリック・ピエロ、フロランス・ヴィアラ、レベッカ・マルテル 監督・脚本：スザンヌ・ランドン

スニーカーと生意気な白いシャツ… 夏がはじまる

スザンヌは16歳。同年代の友人たちに退屈している。恋に憧れはあるけれど、学校の男の子たちが魅力的とは思えない。ある日、年の離れた舞台俳優のラファエルと出会う。彼もまた舞台や仲間たちとの付き合いに退屈している。二人はすぐに恋に落ちる。けれど・・・。

[上映日程] **5/28~6/10** (休映：5/30、6/6)



©2022日活

女子高生に殺されたい

[2021 年／日本／ 110 分] PG12 出演：田中圭、南沙良、河合優実、莉子、茅島みずき、細田佳央太、大島優子 原作・古屋丸丸「女子高生に殺されたい」(新潮社パンチコミックス) 監督：城定秀夫

死んでも、この夢を叶えたい——

女子高生に殺されたいがために教師になった男・東山春人。教師としての日常を送りながらも“理想的な殺され方”の実現のため、“完璧な計画”を練ってきた。理想の条件は二つ「完全犯罪であること」「全力で殺されること」。条件を満たす唯一無二の女子高生を標的に、タイプの異なる4人にアプローチしていく……。

[上映日程] **5/21~6/3** (休映：5/23、30)



ピアノ —ウクライナの尊厳を守る闘い—

[2015 年／ポーランド／41 分] 監督：ピータ・マリア・ドルィガス

あの時、誰かがピアノを演奏していたんだ——

2014 年 2 月、親ロシア派の政権に抗議する市民や学生が機動隊と対峙した「ユーロ・マイダン革命」。騒乱の真ただ中の首都キーウの独立広場で、音楽院の学生アントネッタがバリケードにされようとしていたピアノを救い出した。厳寒の広場でアントネッタが演奏するショパンは人々の心をつかむ。そして世界的な作曲家・リュドミラ・チチュクや兵士のヴォロディミル、覆面の男ボーダンの演奏に加わっていく……。

[上映日程] **5/28~6/10** (休映：5/30、6/6)



© 21 UNO FILM / STEMAL ENTERTAINMENT / LES FILMS D'ICI / ARTE FRANCE CINÉMA / Notturno NATION FILMS GmbH / MIZZI STOCK ENTERTAINMENT GmbH

国境の夜想曲

[2020 年／イタリア・フランス・ドイツ／アラビア語・クルド語／104 分] 監督・撮影・音響：ジャンフランコ・ロージ

どんな場所でも、どんな夜でも、かならず朝は来る

名匠ジャンフランコ・ロージ監督が、侵略、圧政、テロなどにより、多くの人々が犠牲となり、数多の痛みに満ちた土地を通訳も伴わずにひとりで旅をし、旅の中で見聞きしたものを通し、暗闇の中に一条の希望を見だし生きようとする者たちの姿を浮かび上がらせる。

[上映日程] **5/7~20** (休映：5/9~10、16)



©2015 Zodiac Pictures Ltd / Claussen+Putz Filmproduktion GmbH / Studiocalan Film GmbH

ハイジ アルプスの物語【吹替版】

[2015 年／スイス・ドイツ／111 分] 出演：アヌーク・シュテフェン、ブルーノ・ガンツ、イザベル・オットマン 監督：アラン・グスポナー 原作：ヨハンナ・シュビリ「アルプスの少女ハイジ」(講談社青い鳥文庫)

また会えたね、ハイジ。

アルプスの山々囲まれ、ガンコだけど優しい祖父や、ヤギ飼いのペーターと楽しく暮らしていたハイジ。ある日、大富豪のお嬢様・クララの話し相手として、都会へ連れていかれることに。車いす生活を送っていたクララは、ハイジに励まされ、元気を取り戻していく。二人は固い友情で結ばれるが…。

[上映日程] **5/14~15、22、28~29**
【鑑賞料金】一般¥1,500／お子様同伴の大人1名1,200円
その他通常通り



© 銀泥／一迅社 ©2022「パティシエさんとお嬢さん」製作委員会

パティシエさんとお嬢さん

[2022 年／日本／96 分] 出演：崎山つばさ、岡本夏美、増田俊樹、横田龍儀、越智ゆらの、古村比呂、村井良大 原作：銀泥「パティシエさんとお嬢さん」(一迅社) 監督：古厩智之

名前も知らない人を、好きになりました

パティシエの奥野丈士が働く店に、スイーツを買いに来る“お嬢さん”波留美美子。彼女にとってそれは自分へのご褒美であり、“パティシエさん”に会える楽しみでもあった。一方の丈士も彼女に惹かれていたが、恋愛に不器用で彼女の名前を聞けずにいた…。

[上映日程] **5/28~6/3** (休映：5/30)

特典生写真付全国共通前売鑑賞券 (¥1,400)
劇場窓口にて販売中！



第六感劇場 太郎山及び虚空蔵山編 躑躅忌



太郎山にまつわる民話として名高い「つつじのむすめ」。むすめは恋人であるおとこに太郎山の崖から突き落とされて命を落とします。悲運なむすめの魂を弔うため、つつじの花が咲くこの季節に慰霊祭を行います。むすめに扮した俳優が、実際の虚空蔵山から太郎山を駆け、おとこの家で餅を振る舞います。犀の角で待つもよし、山がよく見える場所でむすめを感じるもよし。むすめがどんな気持ちで山を駆け上ったのか、おとこはどんな気持ちでおんなを待っていたのか。あなたの五感があるいは、六感を研ぎ澄ませて感じてください。むすめのみならず境界線を越えてしまったすべての人に捧げる鎮魂の儀式。どうぞご参列ください。

日時：5月7日（土）

18時30分式典開始／翌日明け方終演予定

式場：犀の角（上田市中心2丁目11-20）

参加費：

現地参列（一般）2,500円・（U-22）1,500円

遠隔参列（一般）2,000円

* 天候やコロナ感染状況などの事情により祭事内容や会場を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

舞台は太郎山から虚空蔵山。
目に見える世界そのものを
「劇場」に見立て、決死の覚悟により
上演される悲恋の物語。
むすめの叫びは聞こえるか？

むすめ 寂光根隅的父
花 塚田有一
朗読 GOKU 他
演奏 小野秀、大沢夏海 他

主催：一般社団法人シアター & アーツうえだ



↑お申込みはこちら

一坪半劇場

島崎藤村『夜明け前』を読む

犀の角と茨城県土浦市の劇団百景社（土浦市）が、2年間かけて作品創作を行う《藤村プロジェクト》の一環として、島崎藤村の長編歴史小説「夜明け前」を犀の角の店内から商店街に向けて朗読し、動画配信をしています。商店街で聴くもよし、配信で楽しむのもよし。藤村の言葉の世界をゆっくり味わってみませんか？

日時：5月12日（木）18時
19日（木）18時

配信：犀の角 youtube チャンネル▶



★当企画では読み手を随時募集しております！一緒に『夜明け前』全巻を読み切りませんか？興味のある方は是非犀の角までご一報ください！

百景社 with 犀の角 トライアル公演 ひとり芝居

走れメロス



犀の角こけら落としにて上演され、話題を呼んだひとり芝居「走れメロス」に、犀の角スタッフ・若手俳優の寺下雅二が挑む！

犀の角と、茨城県土浦市を拠点とする劇団百景社は、昨年に島崎藤村の小説を原作とした「Before the Dawn 夜明け前 第一部」を創作・上演しました。そのとき、主人公・青山半蔵を演じたのが、犀の角スタッフであり若手俳優の寺下雅二です。今回は、犀の角こけら落としにて百景社が上演し話題を呼んだひとり芝居「走れメロス」に、寺下が挑みます！太宰治の原文、ほぼそのままに、たったひとりで上演します。果たして寺下メロスは、暴君ディオニスとの約束を果たし、親友セリヌンティウスを助けることができるのか！？犀の角にて、応援求む！！

日時：5月28日（土）14時／19時
29日（日）11時／15時

チケット料金：（一般）2,500円・（U-22）1,500円

原作：太宰治 構成・演出：志賀亮史
出演：寺下雅二

公演詳細・お申し込みはこちら▶百景社 HP
問い合わせ：百景社メール info@hyakkeisyu.org



↑百景社 HP

あらすじ

シラクスの町を訪れた羊飼いの青年メロスは、暴君ディオニス王の話を聞き暗殺を決意。城へ侵入するがすぐに捕らえられ処刑されることとなる。愛する妹の結婚式に出席したいメロスは親友セリヌンティウスを人質にし、三日後の日没までに必ず戻ってくると王に約束する。

募集 うえだイロイロ倶楽部 参加者募集

放課後の時間を、ドキドキワクワク、自由に自分らしく。

『うえだイロイロ倶楽部』は、6歳から18歳までの子ども若者たちが、放課後に地域社会の中で様々な特技や趣味をもったユニークなおとなたちと出会いながら、やりたいことを自分で発見し、自分の意思で取り組んでいく総合文化クラブ活動です。ご好評をいただいた昨年度に引き続き、5月からスタートすることに合わせ新しい参加者を募集します！子どももおとなも一緒にワクワクドキドキしながら、ノビノビ活動する『うえだイロイロ倶楽部』で一緒に楽しみましょう！

イロイロ倶楽部ってこんなところ。

- ・決まった部活はありません。世界で一つのオリジナルの部活を作れるよ！
- ・別の学校、他の学年、地域の大人たち、イロイロな人が集まるよ！
- ・1人ではできないことができちゃうかも！
- ・放課後を劇場や映画館で過ごせます。
- ・大人のサークル活動に参加できます。※中高生対象
- ・障がいの有無、国籍、性別を問いません。みんな一緒に活動します。



活動スケジュール：前期 5～8月／後期 12～翌2月 月2～4回程度

活動場所：主に犀の角

（他、グランピア・上田映劇・リベルテ・デイサービス sora など…）

対象：長野県東信地域の6～18歳の子ども若者

※19歳以上は対象となりませんが、ボランティアスタッフとしてご参加いただけます。※応募多数の場合は抽選となります。予めご了承ください。

参加費：入会金 2,000円 月額参加費：1,500円／月

※入会金・月額参加費は一人当たりの金額です。
※初回は入会金 2,000円＋参加費 1,500円
合計 3,500円をお支払いいただきます。



詳しくはこちら▶

体験会を実施します！

自由に活動を試したうえで参加を検討いただけます。この機会にぜひご参加ください！

日時：5月3日（火）13:00～15:00・4日（水）17:00～19:00
対象：参加を考えている6～18歳の子ども若者



ボランティアも募集中！

活動の見守りやサポートを楽しみながら一緒にやりませんか？詳しくは上記 QR コードから HP へ！

チケット及びお問い合わせ

犀の角 / シアター & アーツうえだ

〒386-0012 長野県上田市中心2丁目11-20
TEL：0268-71-5221 MAIL：info@sainotsuno.org
営業時間：7:30～10:00 / 16:00～21:30 月曜定休



